

野の花

2013. 6. 7



<挨拶は心のバロメーター>

今年度の学校教育の重点目標の一つが「挨拶」です。以前より確かに挨拶の声も出るようになりました。生徒の方から声が出るようになっています。教師の意識が生徒に伝わるという実感がしています。あとは誰が見ても不快に思わない身だしなみができるようにすると、中身の良さが正しく評価されるようになるのですが、そこが改善点です。

毎朝、校門や昇降口、自転車置き場に職員が立って声をかけていますが、どの学年も斜に構えた子どもがいなくなりました。大きな声で挨拶できる子も増えています。中にはまだ頭を下げるだけの生徒もありますが、小さくても声に出して挨拶ができるのは、心を開いている証です。来校された方や見慣れない方に対しても挨拶ができるようになるとさらにもう一歩先に進めるようになります。

本校生徒の素直なところや、人懐っこいところがストレートに伝わるようになるといいなあと思います。

<インターネットの誹謗・中傷は犯罪行為です。>

中学校では携帯を持っていなかった生徒も、高校入学を機に携帯電話を持つようになり、自分のことや友人のことを無防備にネットに晒し、その挙句にブログやプロフィール、日記等に記載した事柄などに誹謗・中傷の言葉が書き込まれたり、いじめ等のトラブルや事件に巻き込まれるケース、怪しいサイトにアクセスして行方が分からなくなった事件、オンラインゲームでのトラブルも多いそうです。援助交際や薬物等の犯罪行為に走る若者も指摘されています。

実際に捜査にあたった方の講演でも指摘されますが、いつでも餌食となる子どもを探して悪の網を張って待っている悪い人たちがいるのです。

万が一、こうした犯罪に巻き込まれたり、見たり聞いたりした場合は、必ず学校や警察に相談してください。私達はいかなる事件・事故の加害者にも被害者にもなってはいけません。安心・安全な社会は、一人一人の心と行動にかかっています。

<適応ということ>

1年生にとっては中学と違う環境への適応が、また2・3年生はクラス替えからのストレスから抜けられずにいる人もいます。保健室や学年室にも、体調不良を訴える人や学級への違和感を訴える人が来ています。これは心理学的にはごく普通の状況です。悩んだり困ったりする過程があって初めて違いを受け入れることができるようになります。逃げずに、困りながら相談や愚痴をこぼしながら、自分と違う人々との折り合いをつける力を身につけていきましょう。

ただし、もう6月です。いつまでも、人間関係やクラス環境になじめないというのは少し問題です。担任やカウンセラーとも十分話し合う必要があります。学校という小さな集団の中で、社会生活の基礎を身につけて行くのですから、多少の軋轢や、ストレスがある状況でそこに適応する力を育てなければなりません。思うようにいかないこと、自分の好む状況ではないことになれること、あるいは耐えることも社会に出るまでに養わなければならない力です。

学校というかなり守られた限定された集団に適応できないということは、どこかに個別の課題があるのかも知れません。原因を考え、改善する方法を考えていかなければなりません。遠慮せずに、相談しましょう。

<健康診断がまもなく終了します。また予防接種も済ませましょう。>

今年度の健康診断もまもなく終了します。X線検査、心電図、尿検査や内科検診、歯科検診が、校医さんや検査機関のご協力で全校生徒の健康診断が実施されました。精密検査や病気の疑いがある場合には保健室から連絡票が渡されます。早目の受診をお願いいたします。様々な病気や症状も早期発見・早期治療で効果が上がります。集団検診が行われる理由には、自他の健康を守ることはもちろんですが、病気の予防の意味もあります。命に関してルーズであってはなりません。どんな病気も早期発見で治る可能性は高くなります。自覚症状がない病気や様々な病気が尿検査や内科検診等で発見されることも多いのです。

「命の尊重」はこうした具体的な検査や検診にまず参加することから始まっています。

*** 3年生ははしかの予防接種が無料で受けられます。自治体からの案内に従って摂取してください。詳しくは保健室まで**



<進路実現に向けて>

進路講演会（1年生対象） 平成25年6月6日（木）

5, 6限目に、1年生対象の進路講演会が行われました。外部からお二方の講師をお招きし、「勤労の意義」、「高校生活の過ごし方」をテーマに、話をいただきました。「勤労の意義」では、進路が決められない若者の現実についての内容からはじまり、順を追って、働くことの大切さを、生徒に伝えていただきました。また、「高校生活の過ごし方」では、講師から質問された生徒が答える場面等があり、そのやりとりをとおして、生徒たちは、すっかり話の中に引き込まれていましたね。

今からすべきこととして、

「自分で考える力を身につける」、「多くの人と交流することの大切さ」、「具体的な計画、目標を持つこと（数値化してみる）」、「失敗をたくさんする（振り返る）」、「感謝の気持ちを持つ」等が話されました。

いずれの話も、生徒たちは真剣に聞いていたと思います。



進路講演会（2年生対象） 5月30日（木）

5, 6限目に、2学年対象の進路講演会が行われました。

5限目は、2つの寸劇が行われましたが、生徒たちは、皆、よく聞いていましたね。劇をとおして、アルバイトと正社員の違いがよく伝えられていたと思います。保険、年金、生涯賃金、やりがい等、生徒たちは、具体的に比較できたのでないでしょうか。

6限目はまず、千葉県警察本部から来ていただいた講師の方に、警察の組織、仕事内容について、詳しく説明していただきました。続いて、松戸警察署署員の方から、生徒に対するアドバイスをいただきました。

今日の講演会で、職業について真剣に考えてもらうきっかけとなったと思います。単に、収入を得る手段という視点から選ぶのではなく、社会貢献や社会形成といった視点の必要性が少しでも伝わったのであれば、うれしいことです。



進路説明会 平成25年5月11日（土）

午後0時50分から、第2多目的室で、進路説明会が行われています。第2多目的室が使用されるのは、今日がはじめてですね。出席予定の保護者は106名でした。本当に多くの方にお集まりいただいたこと、とてもうれしく思います。また、本校職員も20名程度参加していましたね。

進路指導部担当からの説明

- ・平成24年度卒業生の進路状況。
- ・進路決定については決して子ども任せにせず、親子で一緒に話し合ってください。
- ・進学する際の学費の目安。
- ・就職する場合もお金が必要となる。
- ・奨学金について。
- ・オープンキャンパスのすすめ。
- ・あきらめなければ最後はなんとかなる。



進路相談会（3年生対象） 5月9日（木）

5月9日（木）、柏のホテルには、多くの大学・専門学校が参加し、ブースを設けていました。生徒たちが、どこへいけばよいか迷わないかと心配でしたが、あらかじめ参加校のリストを配付し、考えさせておいたため、生徒たちはスムーズに移動し、積極的に担当職員の説明を聞いていましたね。生徒たちの真剣な表情をみることができ、また、生徒たちから「もっと聞きたかった」、「たくさん話を聞いて疲れた」、「とても充実感があつた」といった感想を聞くことができるなど、生徒たちは、充実した時間を過ごすことができたことと思います。このガイダンスをきっかけに、目標に向けて、努力して欲しいと、強く思います。



本校では、3年間を見通した進路計画を立て、それにしたがって、進路指導を展開しています。ここには、進路に関連する記事のほんの一部を掲載しました。

保護者の皆様、本校ホームページ(<http://www.chiba-c.ed.jp/m.koyo-h/>)をご覧ください。ぜひとも、本校のきめ細かな進路指導をご確認いただきたいと思います。